

# 冒険ランドいおうじまでの 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針 【平成18年1月末現在】

(開催概要)

日時：平成17年8月2日(火) 19:00~20:00

場所：冒険ランドいおうじま

検討結果等、  
処理状況の分類

1. 既に施策等に盛り込み済み、処理済みのもの
2. 施策への反映を検討中、処理中のもの
3. 要望等に沿い難いもの
4. 市の所管に属さないもの
5. その他

平成18年3月  
鹿児島市市民参画推進課

日時：平成17年8月2日（火）19:00～20:00  
場所：冒険ランドいおうじま

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等	現在までの処理状況	分類
1	伊敷中3年男子	10年後の鹿児島を見据えて、現在、取り組まれている政策があれば、教えてほしい。また、10年後の鹿児島はどうなっているか考えるか。	<p>昨年の3月に新幹線が開業して、鹿児島も賑わっている。10年後は全線開業しており、福岡や大阪まで日帰りで行けるようになるので、福岡や大阪に負けないようなまちづくりをしていかなければならないと思う。</p> <p>今までは、国が地方自治体に補助金を出して事業を進めていたが、財政難でそういうことができなくなり、地方が自らいろいろな事を実施しなければならなくなってきている。特色のある魅力のあるまちづくりをしていかなければ、都市と都市との競争に勝てなくなる。</p> <p>10年後というのは、教育、産業、環境などいろいろな面で、想像を超える速さで変化がおこっていると思うので、皆さん方と一緒に、魅力のあるまち、鹿児島島に行ってみたいと思うようなまちづくりをしてみたいと思っている。</p> <p>また、10年後は、一番人口が多い世代が、60歳台になるので、高齢者を大切にしたいまちづくりもしていかなければならないと思っている。</p>	企画部	市長の発言のとおり	(検討結果、今後の方針等のとおり)	5
2	伊敷中教諭男性	私たち教職員も、現場で生徒に豊かな学力であるとか、規範意識、倫理観などを少しでも育てられるように、微力ながら日々努力しているが、市長からみて、現場の教師に、もっと力を入れてほしい、心がけてほしいということがあれば、教えていただきたい。	<p>良識ある人であってほしいと、私は望んでいる。</p> <p>また、子どもを教育する場合でも、子ども達と一緒に学んで、遊び、心の通い合う教師であってほしいと思う。先生達の言動を生徒達は見ていてと思うので、それぞれの教師が模範となるような言動をしてもらいたいと思う。</p> <p>まちづくりはひとつづくりであると思っており、人をつくっていないとそのまちは活性化しないと思っている。人をつくるためには、先生自身が、規範となるという自覚を持って、指導にあたってほしいと思っている。</p>	教育委員会	<p>将来の鹿児島を担う子どもたちを育成していくためには、教師の力量や資質を向上していくことが重要である。</p> <p>そのことを念頭に置いて、現在、教職員の経験に応じた研修、専門性を高める研修、職能に応じた研修を延べ148回計画している。</p> <p>また、学校で行われる校内研修へも指導主事が出かけて指導を行い、指導法の益々の向上に努めている。</p> <p>今後も研修会等の充実を図り、教職員の資質向上に努めていきたい。</p>	<p>教職員の経験に応じた研修、専門性を高める研修、職能に応じた研修を計画どおり実施したところである。</p> <p>今後も研修会等の充実を図り、教職員の資質向上に努めていく。</p>	1

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等	現在までの処理状況	分類
3	西紫原中2年 女子	<p>私達の学校では、校内で花を植え、みどり豊かな学校を作る花いっぱい活動が行われている。学年別に違う花を植え、他にもいろいろな種類の花や木が植えてあるので、春から冬まで一年中花が咲いている。</p> <p>この活動を西紫原中だけでなく、紫原のまちや市全体へも広めていきたいと思っている。そうすればとてもきれいなまちになり、見ている人もとても良い気持ちになる。</p> <p>最近の世の中では、地球温暖化の問題など、将来の生活を大きく左右することが世界的に取り沙汰されている。この21世紀の重責を務める私達に今、求められていることは何か。市長からのアドバイスをいただきたい。</p>	<p>すばらしいことを述べていただいた。私もその通りしたいと思っている。</p> <p>今、環境問題が、いろいろなところで問題視されている。地球に住む以上は、自分達が責任を持って次の世代にすばらしい地球を残していかなければならないと考える。</p> <p>花いっぱい運動とか、みどり豊かなまちづくりということで、花や木々を植え、地球の温暖化をできるだけおさえて、地球を守っていこうという運動がいろんなところで展開されている。本市でも、照明を細かく消す、部屋の温度を28度に保つ、クールビズ、ごみの分別収集等を行っている。</p> <p>今後、私は、環境にやさしい取り組みをした事業所・学校に認定証を差し上げ、それを目標に環境にやさしい学校・まちづくりをしていただきたいということを考えている。</p>	環境局、建設局	<p>(環境局) 本市では、職員自らが率先して環境保全に取り組む「率先行動計画」を実施しており、照明はこまめに消す、水道の蛇口はこまめに閉める、冷房は28℃以上に設定する、ごみの分別の徹底等を行っている。</p> <p>これらのことは、皆さんも学校や家庭で気軽に取り組めることと思う。今までの日常生活を見直し、環境にやさしい生活様式に変えていくことが大事である。</p> <p>本年度は、地球温暖化に伴う影響や現状、省エネのための実践行動等を掲載する地球温暖化防止に関するパンフレットを作成し、公共施設等に配置する。</p> <p>また、先生や皆さんそして保護者の方々が一体となって環境にやさしい学校づくりに効果的に取り組む仕組みとして「学校版環境ISO認定制度(仮称)」を設けることにしている。これについては、ぜひ皆さんの学校でも取り組んでほしい。</p>	<p>(環境局) 地球温暖化防止に係るポスター・パンフレットを作成し、公共施設等に配布し、地球環境保全やヒートアイランド対策の広報・啓発を図っており、平成18年度も引き続き広報・啓発に努める。また、市民、事業者と一体となって、地球温暖化防止に取り組むための計画を策定する予定である。</p> <p>平成18年度より「学校版環境ISO認定制度」を開始する予定であり、現在、同制度の実施要綱及び取得・運用マニュアルの策定を進めている。</p>	1
					<p>(建設局) 本市は、これまで行政と市民総ぐるみの緑化事業により、市街地における緑の量的拡大を図り、それぞれの環境に適した緑の質の充実や主要な交差点、街路の路傍に花壇を設置し、緑豊かな花にあふれたまちづくりを推進している。また、生活環境の整備、美化のため町内会等が行う活動に対し、花いっぱい運動の一環として、草花苗の配布や四季の草花による緑化を奨励するため花のまちづくりコンクールを開催している。</p> <p>今年度は、地球温暖化及びヒートアイランド対策の一環として、市街化区域内における主要な公共施設について、屋上緑化の可能性調査を行う。</p>	<p>(建設局) 本市は、これまで行政と市民総ぐるみの緑化事業により、市街地における緑の量的拡大を図り、それぞれの環境に適した緑の質の充実や主要な交差点、街路の路傍に花壇を設置し、緑豊かな花にあふれたまちづくりを推進している。また、生活環境の整備、美化のため町内会等が行う活動に対し、花いっぱい運動の一環として、草花苗の配布や四季の草花による緑化を奨励するため花のまちづくりコンクールを開催している。</p> <p>屋上緑化については、平成18年度、公共施設の屋上緑化の実施と民間の住宅や事務所などの屋上緑化等への助成について検討しているところである。</p>	2

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等	現在までの処理状況	分類
4	西紫原中2年男子	<p>硫黄島での自然体験学習を通して、豊かな人間性を育成するとともに、集団としてより良く行動するために自らが何をすべきかを判断し、主体的に行動できるようにすることを目的に、このリーダー研修に参加した。</p> <p>3年生が本格的な受験勉強に入るこれからは、生徒会、部活動などいろいろな面で、2年生がリーダーという存在になる。そのことからこのリーダー研修は大きな意味があることだと思う。</p> <p>学校の中心になるということは、学校の伝統を先輩方から受け継ぐことでもある。伝統には、「黙想、静止」、「ノーチャイム」、「花いっぱい活動」、「あいさつ運動」の4つがある。</p> <p>この先輩方々から受け継いできたすばらしい伝統を守っていくと同時に後輩達にも伝えていきたいと思っている。</p> <p>そこで、これからどのようなことを身につけていかなければならないか、市長の中学時代を振り返り、アドバイスしていただけないか。</p>	<p>学校の先輩方がすばらしい教訓を培ってきているなど感じた。</p> <p>私は、中学高校時代に学校や地域で学んだことが、自分の人生の中で一番大きな影響を与えてくれていると思っている。</p> <p>学校や地域には、すばらしい歴史や伝統があるので、それを引き継ぎ、後輩、地域の皆さんにも教えていく。そうすることで地域のリーダーとして尊敬されていくのではないと思う。</p> <p>学校や地域のリーダーというのは、相当な苦勞、努力、苦しいこともあるが、みんなを取りまとめるためには、今まで育んできた教訓や学校のしきたりとかを継承しなければならないと思う。リーダーは、責任が重いと思うが、自分の資質も高められると思うので、頑張っていたきたい。</p> <p>また、鹿児島島の偉人などの言葉をかみしめ、意味を理解し、後輩に教えていくということも大事ではないかと思う。</p>	教育委員会	<p>学校の生徒会活動の活性化を図るために、市の中学校生徒連盟の援助を積極的に行っていく。</p> <p>また、郷土教育の充実に努めるとともに、鶴岡市や大垣市との中学生交流事業等の、郷土の先人の偉業を振り返り、理解を深める機会の充実に図り、学校・地域のリーダー育成に努力していく。</p>	(検討結果、今後の方針等のとおり)	5
5	伊敷中3年男子	<p>鹿児島市は、市町村合併があったが、合併が行われることによって、どのような利点があるのか教えてほしい。</p>	<p>本市は、昨年11月1日に隣接する5町と合併し、60万人を超す、九州では4番目に人口の多い都市になった。</p> <p>市町村は、税金でいろいろな事業を行わなければならないが、景気が良くないと、税金もなかなか入らない。そうすると、教育、観光、環境、福祉など何もできなくなる。合併をして、無駄を省き、効率よい運営することによって、まちが活性化され飛躍することになる。</p> <p>合併に伴う大きなメリットは、職員数が減ることにより人件費も少なくなったり、また、各町にあった体育館や福祉施設等の同様の施設を60万市民が共有でき、利用できるようになった。</p> <p>さらに、5町が持っていた文化、歴史の財産を活用して全国にアピールできる。それが良かったのではないかと思う。桜島は、全島が鹿児島市になったので、観光の大きな目玉として売り出すことができる。</p>	企画部	市長の発言のとおり	(検討結果、今後の方針等のとおり)	5

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等	現在までの処理状況	分類
6	西紫原中教諭 男性	<p>様々な凶悪犯罪や青少年が巻き込まれた事件が毎日のように報道されている。社会自体が不安定で、未来への希望よりも不安が語られることが多く、不透明や時代といわれる今日こそ、教育の重要性がいつそう増している。</p> <p>その中でも「生きる力」、豊かな心の育成が教育の最重要課題と言われている。私は、夢を抱きそれを実現させようとする気持ちこそが「生きる力」と考えている。自分の将来について考え、希望を持って生きようとするれば、その実現のためにどうすれば良いか、自分に足りないものは何かを見つめ、考え、努力をする。</p> <p>私の夢は、生徒とともに考え、悩み、喜びを共有できる教師であり続けることである。自分自身が常に学び続け、生徒と真剣に向き合い、生徒と共に成長し続けたいと思う。生徒の「生きる力」の育成を達成すべく、職責を果たしていききたい。</p>	<p>大変すばらしい志であると思う。</p> <p>今日の社会は、様々な面で大きく変化してきており、それらの変化に対応した教育のあり方が問われている。そういった意味では、生きる力の育成が学校教育の最重要課題であると思っている。生徒と教師が一つになって課題解決に向けて切磋琢磨していくということが大事であると思っている。</p> <p>私も過去を振り返ってみると、やはり、中学生の頃の先生が一番印象に残っている。愛情豊かで、生徒と心をつつにして、一緒に汗をかいて、一緒に涙し、一緒に立ち向かったという先生の姿勢を見て学んだことが、学校生活の中で大切なことであつたと思っている。</p> <p>生徒に夢と希望を与えることができる魅力あふれる教師になれるよう、自己研鑽に努めていただき、更なる指導力の向上を図って、日々の教育活動にご尽力いただきたいと思う。今、先生が、言われたことを常に頭においていただき、教育活動にまい進していただければ、すばらしい先生になると思う。ぜひ、その理念で頑張っていたいただきたい。</p>	教育委員会	<p>子どもたち一人一人に「生きる力」を育成するために、教師に大きな期待がかかっている。</p> <p>児童生徒に夢と希望を与えることのできる魅力ある教員を目指して、自己研鑽に努め、更なる指導力の向上を図ることができるように、行政としても経験や専門、職能に応じた教職員研修の改善・充実にも努めていく。</p>	(検討結果、今後の方針等のおり)	5
7	伊敷中2年 女子	<p>もし、市長が中学生の頃、生徒会役員をされていたとしたら、学校をよくするため、どんなことに重点的に取り組まれたか。もし、そうでなければ、市長が中学校の頃、生徒会長だったら、どんなことにまず取り組んだと思われるか。</p>	<p>私は、生徒会役員はしていなかった。しかし、学級では、いろんな役をし、友達と一緒にその役を全うするために、努力したことは記憶にある。</p> <p>私の中学校は、自由な気風にあふれた学校だった。生徒会役員を見ていたが、生徒一人一人の個性を大切にしている、いろんな物事を決めていたように思う。そのことが、学校の特色を出していけるということで努力をしていたのではないと思う。生徒自身が企画立案し、みんなが協力をして、体育祭や文化祭を創っていたことが思い出される。</p> <p>もし、私が生徒会役員の立場であつたら、奉仕活動、専門部活動、地域活動に積極的に参加し、学校がある地域の方と一緒にすばらしいまちをつくっていききたいという気持ちになつていただけたのではないと思う。</p> <p>地域からも、先生からも、父母からも愛される魅力のある学校にし、それを後輩にも引き継ぐための努力をしていかなければいけないと思う。</p>				

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等	現在までの処理状況	分類
8	伊敷中2年 女子	新幹線が開通し、アミュプラザが完成したことで鹿児島市にはどんな変化が起こっているか。また、交通政策や観光政策で変化したことがあるか。	<p>昨年3月に、新幹線が鹿児島中央駅から八代まで開業した。新幹線で鹿児島に来る人が1年前と比較すると約2.3倍の322万人になり、まちの賑わいが増してきた。大きな力を新幹線からもらったと思う。</p> <p>また、合わせて、中央駅周辺も整備され、交通アクセスもよくなり活性化した。アミュプラザ開業と相まって、中央駅から天文館、ウォーターフロント地域が一体化して大変な力が生まれ、鹿児島が生まれ変わったと思う。</p> <p>しかし、まだ効果は持続しているが、6年後に全線開業すると、九州大阪エリアが日帰りできる地域になるので、逆に鹿児島から福岡や大阪に行ってしまうのではと心配している。</p> <p>そうならないよう、鹿児島のまちをつくっていかねばならないと思っており、県と一緒に交通政策や観光政策に力を入れていきたいと思っている。</p>	企画部、 経済局	<p>【交通政策】 (企画部) 市長の発言のとおり</p>	(企画部) (検討結果、今後の方針等のとおり)	5
					<p>【観光政策】 (経済局) 九州新幹線の全線開通を見据えて、今年度は、本市の観光振興に対する基本方向を示す「鹿児島市観光未来戦略」を策定することとしており、郷土のオリジナリティを生かした国際観光都市づくりに努めてまいりたいと考えている。具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライトアップやイルミネーションによる彩り豊かな夜の景観創出</li> <li>・美しい錦江湾を舞台にした感動のクルージング</li> <li>・緑豊かな田園や森林を生かしたグリーンツーリズムの促進</li> <li>・豊かな温泉や世界に誇り得る桜島の活用 など</li> </ul> <p>本市が持つ豊かな資源や特性などのオリジナリティを最大限に生かしながら、新たな魅力づくりを進めるとともに、このような多彩な魅力を国内外に広く発信していきたいと考えている。</p>	(経済局) 九州新幹線の全線開通を見据えて、平成17年12月に「観光未来戦略」を策定したところであり、「一味違う鹿児島」魅力多彩な国際観光都市の創造」を基本コンセプトに「感動」魅力あふれる鹿児島の創造」など4つの基本方針と15の重点戦略のもと観光振興を図っていく。	5
9	伊敷中3年 男子	中高一貫の玉龍中学校・玉龍高等学校が来年開校するが、中高一貫教育の良いところ、どのような学校づくりを目指しているのかを教えてください。	<p>玉龍中学を8月1日に開設し、来年の4月から中学生を受け入れることにしている。</p> <p>中高一貫教育というのは、6年間同じ中学高校で学ぶので、高校入試の影響を受けない。そして、6年間を通した教育課程の中で、生徒一人一人の個性や能力を十分に伸ばしていけるのではないかと考えている。</p> <p>そのために、玉龍中高一貫教育校では、豊かな人間性の育成、真の学力の向上、国際性の育成の3つのことを柱として、中学生と高校生が同じ敷地内で、授業や学校行事、また、部活動等に意欲的に取り組んで、互いに切磋琢磨することで、高い志の実現を目指すことができると考えている。</p> <p>実は、私も中高一貫教育の学校を出た。その中で感じたことは、6年間同じ校舎で学んだことで大変絆が強いのではないかと考えている。また、人と人の絆を大切にすることを学んだと思っている。</p> <p>玉龍中高の生徒の皆さんが、3つの柱に向かって、一生懸命努力をしてもらえれば、大変ありがたいと思っている。</p>	教育委員会	市長の発言のとおり	現在までに、鹿児島玉龍中学校の入学選抜検査を平成18年1月7日に実施し、120人の入学予定者を決定した。	5
						また、中高一貫教育校としての施設等の整備についても3月までに校舎改修等工事が完了するとともに、平成18年度には中・高校生がふれあい、交流を深める施設の新築工事を実施する予定であり、中高一貫教育校の特色を十分に生かした学校づくりに取り組んでいる。	

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等	現在までの処理状況	分類
10	伊敷中2年 男子	私たちが将来社会に出て、役立つ人間になるためには、どんな勉強をすることが大切か。また、市長が中学時代を振り返って、これをしておけばよいということを教えてほしい。	<p>社会に出て大切なことは、人と人の和を大切にすることであると思う。</p> <p>私の生きる目標は、誠心誠意である。人の心に接して、その人に真心を込めて接していくと、相手が真心を持って接してくれると思っている。</p> <p>やはり、中学校時代に学んだことが、現在の私の基礎になっている。皆さんも学校行事はもちろん、地域でのボランティア活動にも積極的に参加して、地域の先輩や父母にもいろんなことを聞いて、良いところを学んでほしいと思う。</p> <p>私が、この仕事に就いて一番思うことは、もう少し、本を読んでおけばよかったということである。新聞を読んだり、読書に取り組んだりして、社会を幅広く知っていただければ、大きくなったときにいろんなところで役立つと思う。</p> <p>そうした積み重ねの中で、将来社会で生かせる自分が見つかるのではないかと思う。新聞、本を読むことで自分自身を高められるし、また、将来を決めるいろんなアイデアも得られると思う。私は、そのことが欠如していたかなと思っている。</p>				